

シダキュア スギ花粉舌下錠 2,000JAU

シダキュア スギ花粉舌下錠 5,000JAU

【この薬は？】

販売名	シダキュア スギ花粉舌下錠 CEDARCURE	
	2,000JAU	5,000JAU
一般名	スギ花粉エキス原末	
含有量 (1錠中)	2,000JAU	5,000JAU

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・スギ花粉から抽出したエキスを原料とする減感作療法（アレルギー免疫療法）の薬です。
- ・この薬は、スギ花粉症の原因となるスギ花粉のエキスを使用し、体を慣らすことでスギ花粉症の症状を徐々に弱めます。

- ・次の目的で処方されます。

スギ花粉症（減感作療法）

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断し、服用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にこの薬を使用してショックをおこしたことがある人
 - ・重い気管支喘息（きかんしぜんそく）の人
- この薬を使用する前に、皮膚反応テストまたは血液検査が行われ、医師がスギ花粉症であるか診断を行います。
- スギ花粉が飛散している時期はこの治療は開始しません。
- 初回の使用は、医師の監督のもとで行います。
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・過去にこの薬、またはアレルゲンエキスによる診断・治療、あるいはスギ花粉を含む食品の摂取などによりアレルギー症状をおこしたことがある人
 - ・気管支喘息の人
 - ・悪性腫瘍、または免疫系に影響を及ぼす全身性の疾患（例えば自己免疫疾患、免疫複合体疾患、または免疫不全症など）を伴う人
 - ・高齢の人
- この薬を使用することにより、アナフィラキシーなどの重篤なアレルギー症状をおこすことがあります。

アナフィラキシーの症状や、症状がおきたときの対応方法について、患者さんや家族の方は十分に理解できるまで医師から説明を受けてください。

アナフィラキシーの症状（全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみなど）があらわれた場合は、ただちに医療機関を受診してください。
- 他の減感作療法（アレルゲン免疫療法）薬との併用によりアナフィラキシーなど副作用の発現が増加するおそれがあります。これらの人は、必ず医師に相談してください。
- 非選択的β遮断薬（高血圧、狭心症、不整脈などの薬）を使用中の人、三環系抗うつ薬およびモノアミンオキシダーゼ阻害薬（遺尿症、うつ病、パーキンソン病などの薬）を使用中の人、または重い心疾患、肺疾患、高血圧症の人では、この薬によるアレルギー反応の処置の場合など注意が必要な場合があります。これらの人は必ず医師に相談してください。
- 経口または注射のステロイド薬を使用中の人では、この薬の効果が得られない可能性があります。これらの人は必ず医師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

通常、使用する量および回数は、次のとおりです。

	投与開始後 1 週間	投与 2 週目以降
1 日量	2,000JAU (1 錠)	5,000JAU (1 錠)
使用回数	1 日 1 回	

●どのように飲むか？

- ・初回の使用は、医師の監督のもとで行います。使用後少なくとも 30 分は安静にしてください。
- ・舌の下に錠剤を 1 分間保持した後、飲み込みます。(錠剤を舌の下に置くと唾液で溶けてなくなりますが、薬の溶けた唾液はすぐに飲み込まず 1 分間舌の下に保持してください。)
- ・飲み込んだ後、5 分間はうがいや飲食を控えてください。
- ・この薬は吸湿性があるので、使用直前に乾いた指でブリスターシートから取り出してください。
- ・ブリスターシートから取り出す際には、裏のシートを剥がした後、爪を立てずに指の腹で押し出してください。この薬は他の錠剤と比べて柔らかく、割れることがあるのでシートを剥がさずに押し出さないでください。
- ・欠けや割れが生じた場合でも全量を服用してください。

●1 分間保持できずに飲み込んでしまった場合の対応

その日は再度服用しないでください。

翌日、改めて前日の量を服用してください。

●服用を忘れた場合の対応

決して 2 日分を一度に服用しないでください。

その日のうちに気がついた場合は、その日の量を服用してください。

翌日気がついた場合は、前日の量を服用してください。

●多く服用した時（過量使用時）の対応

ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあります。ショック、アナフィラキシーを早期に認識しうる症状があらわれた場合は、ただちに医療機関を受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- この薬を服用後 30 分、投与開始初期、スギ花粉飛散時期はアナフィラキシーなどの発現に注意してください。
- この薬を使用する前と、使用后 2 時間は、激しい運動、飲酒、入浴などは避けてください。また、使用后 2 時間以降にこれらを行う場合にもアナフィラキシーなどの副作用の発現に注意してください。
- アナフィラキシーの症状が起きた場合に対処できるように、できるだけ家族の方がいる場所や日中に使用してください。
- 次の場合には、この薬を使用せずに医師または薬剤師に相談してください。
 - ・喘息発作時や気管支喘息の症状が激しいとき
 - ・急性感染症にかかっているときや、体調が悪いとき
 - ・抜歯後や口内炎など口の中に傷や炎症があるとき
- この薬の使用開始初期(およそ 1 ヶ月)に、口腔内の副作用が多くあらわれます。症状があらわれた場合には、医師または薬剤師に相談してください。
- 症状が改善しても、すぐにこの薬の使用を中止すると再発する可能性があるため、使用の中止については医師または薬剤師に相談してください。
- 妊娠中または妊娠の可能性のある人は医師または薬剤師に相談してください。
- 授乳中の人は授乳を避けてください。
- 他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、重大な副作用に記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに使用をやめ、医師などに連絡し、指示に従ってください。

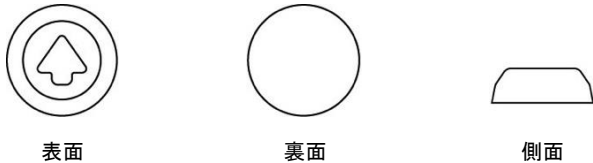
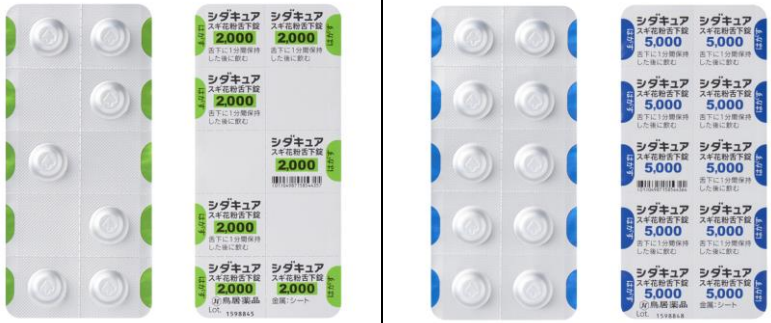
重大な副作用	主な自覚症状
ショック、アナフィラキシー	冷や汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失、全身のかゆみ、喉のかゆみ、ふらつき、息苦しい、動悸（どうき）、じんま疹 【ショック、アナフィラキシーを早期に認識しうる症状】 口腔内異常感、皮膚のそう痒感、赤い発疹・皮膚の発赤、胃痛、腹痛、吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、目が見えにくい、視野が狭くなる、鼻づまり、くしゃみ、しゃがれ声、咽喉頭（いんこうとう）そう痒感・異常感、胸がしめつけられる感じ、息切れ、咳、唇・手足の爪・皮膚が青紫色～暗紫色になる、頭痛、耳鳴、不快感、さむけ、四肢や顔のしびれ、顔が赤くなる、汗をかく、手足の震え、頻脈、不整脈、血圧低下、不安、恐怖感、判断力の低下など

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗が出る、手足が冷たくなる、ふらつき、不快感、さむけ、四肢や顔のしびれ、汗をかく、手足の震え
頭部	めまい、意識の消失、頭痛
顔面	顔面蒼白、鼻づまり、顔が赤くなる
眼	目が見えにくい、視野が狭くなる
耳	耳鳴
口や喉	喉のかゆみ、口腔内異常感、嘔吐、くしゃみ、しゃがれ声、咽喉頭そう痒感・異常感、咳
胸部	息苦しい、動悸、胸がしめつけられる感じ、息切れ、頻脈、不整脈
腹部	胃痛、腹痛、吐き気
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚のそう痒感、赤い発疹・

部位	自覚症状
	皮膚の発赤、唇・手足の爪・皮膚が青紫色～暗紫色になる
便	下痢
その他	血圧低下、不安、恐怖感、判断力の低下

【この薬の形は？】

販売名	シダキュアスギ花粉舌下錠 2,000JAU	シダキュアスギ花粉舌下錠 5,000JAU
色・剤形	白色～帯黄褐色、円形の凍結乾燥錠剤	
形状	 <p>表面 裏面 側面</p>	
サイズ	直径 11.3mm、厚さ 3.8mm、重量 33mg	
ブリスター包装		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	スギ花粉エキス原末
添加物	D-マンニトール、ゼラチン（魚由来）、pH調整剤

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・吸湿性があるので、使用直前までは包装を開けずに保管してください。
- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社： 鳥居薬品株式会社 (<https://www.torii.co.jp>)

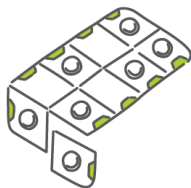
お客様相談室

電話：0120-410-520

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、その他休業日を除く）

【服用方法】



- ①ブリスターシートの上のミシン目にそって、しっかりと折り曲げ、切り離してください。



- ②うら面の「はがす」部分からはがしてください。薬がやわらかく、割れることがあるため、シートをはがさずに押し出さないでください。



- ③爪を立てずに指の腹で下から押して、薬を取り出してください。
欠けたり割れたりした場合、それらも一緒に服用してください。



- ④舌の下に薬を置き、1分間保持した後、飲み込んでください。
唾液で溶けて薬がなくなっても、唾液はすぐに飲み込まず、1分間舌の下に保持してください。

